

NPO 法人 環境生態工学研究所 活動報告

テーマ	第6回 森と海とを結ぶ緑の復元活動 松尾鉱山跡地の植樹活動
実施日	平成25年9月27日(金)
参加者	仙台二華高校の生徒と先生(235人)、 東北工業大学の学生と教員(6人) E-TEC 会員(3人) 【計 244人】

[2013.9.27 『第6回 森と海とを結ぶ緑の復元活動 松尾鉱山跡地の植樹活動』を実施しました](#)

定例となりました松尾鉱山跡地での植樹活動です。E-TECの活動は水環境保全に係るものが多いのですが、川や海への汚濁負荷は陸からもたらされるものがあり、山の保全は水域への保全に繋がるという思想の下、「健全な山づくり」にも取り組んできました。

活動の実施場所である松尾鉱山跡地(岩手県八幡平市)は、松尾鉱山が閉山して40年が経過するのですが、今なお酸性水の浸出や酸性土壌の影響により、十分な緑の再生には至っていません。しかし、土壌を中和することや有機資材の投入、さらに現地種の中でも活着が良くかつ生態系の構成種として重要な樹種を選択することで、ゆっくりながらも確実に緑の面積を広げています。E-TECは平成20年より本活動を実施しており、今回が第6回目となりました。今年は9/27と9/29の2回に分けて実施しました。本報告はその1回目の活動状況です。

なお、今回の活動は『2013年度 緑の募金』の助成を受け、実施している事業です。



毎年、本活動の日はなぜか悪天候が多く、寒かったりみぞれが降ったりと自然の厳しさを思い知ることができるのですが、今回は晴天で温かく絶好の活動日和となりました。



まずは E-TEC の山田理事より、本日の作業概要を説明しました。



植栽前の区画です。区画番号は通所授産施設の方に作成していただきました。



土壌改良のため海の廃棄物「カキ殻」を混ぜています。



土壌が出来上がったら、いよいよ植樹です。皆さん、一生懸命です。



植樹後は、防風柵に記念のサインを書いて終了です。今はひ弱な苗ですが、いつ日か大木になり、森を作ってくれることでしょう。

今回の活動も多くの方々のご協力を頂き実施することができました。『理研食品株式会社』様からは、土壌改良のための海藻資材を提供いただきました。29日植栽時には『岩手県北郵便局長会』の皆様 200 名にもご参加を頂きました。

両日合わせて参加者 450 人以上、植栽本数 1080 本という大きなイベントとなりましたが、ご参加いただきました皆様にはけがや事故もなく無事終了できましたこと重ねて感謝いたします。

植樹の効果は 50 年や 100 年たってから分かるものかもしれません。ご参加いただきました皆様の未来のそのまた未来のために、今からできる活動を今後とも企画していきたいと思えます。

以上